

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	医療法、備前市国民健康保険市立吉永病院
事業開始年度	平成17年度			問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	市立吉永病院事務部
中項目	基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち		
小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供		
事務事業名	11	吉永病院診療事業		合先	職・氏名
				電話	0869-84-2120
				このシート作成に要した時間	
				7.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	病気の治療及び予防を必要とする人	
目的(何のために)	安全で質の高い医療サービスを提供し、親しまれ、必要とされる病院となる	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安心安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
収納事業(未収金対策)	未収金の回収業務	◎
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供	◎
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供	◎
検診事業/検診	住民健診、企業健診による市民等の健康管理の提供	◎
地域連携事業	病院と診療所での連携・病院と病院との連携・介護福祉施設等との連携を図り、患者さまによりよい医療サービスを提供	○
相談事業	患者の不安や介護事業などの相談業務	○
相談事業	各種法令に沿った申請、届出等医療事務サービスの提供	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	必要人員	千人円	1,139,827	1,153,317	1,169,628
財源	事業費	必要人員	千人円	96.03人	555,106	98.80人
	事業費	必要人員	千人円	1,694,933	1,734,152	1,794,795
	国	支出金	千円			
	受	益者負担	千円			
	繰	入金	千円	77,780	76,640	76,100
市	源	千円				
一	般	財	千円	1,617,153	1,657,512	1,718,695
受	益者負担	率	%	-	-	-
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績		
入院、外来患者延数	説明	入院患者、外来患者の年間延べ人数				
結果指標量	人	17,158	103,960	17,020	101,578	17,013
対前年比	%	-	-	99.2%	97.7%	100.0%
活動コスト	円	667,540,827	1,022,435,951	656,840,453	1,080,832,703	651,307,192
単位当たりコスト	円	38,906	9,835	38,592	10,640	38,283

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)	96	96	96	96	
	実績値(B)	93.3	93.3	93.2	到達目標値	
	達成率(B/A)	97.19%	97.19%	97.08%	96	
成果指標設定の考え方・式や説明						
安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標値を設定。 ※病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数(365日又は366日) ÷ ベッド数(50床)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		B	

進行年度(H26年度)の改革改善内容	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	未収金対策と適正収入の確保に取り組むほか、昨年立ち上げた地域連携室の精度を深め、医療・介護連携を図り信頼される在宅生活の継続支援を行う。 また、今年度は特定健診、各種人間ドックなどの受入れ体制を整え、受診可能人数を増やし、地域住民の健康管理に貢献できるよう務める。

総合評価		総合評価
平成25年度では、医療収益が微増したものの、給与費、材料費、経費などが増加し、純損失を計上した。医療圏内の人口は減少しており、更なる外来患者数の増加は見込めないため、今後は在宅医療サービスに重点を置くなど経営方針の見直しが必要となっている。 また、新たな調剤機器を導入したため、今後は薬の待ち時間の短縮など、より一層患者満足度向上に努め、市民に信頼される医療機関を目指す必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>	
取組目標	平成26年10月の診療報酬改定に伴い、急性期対応から在宅医療への方向転換が急務となっている。地域医療の中核施設として、どのように取組むべきか検討し、早急に体制を整備する必要がある。	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな